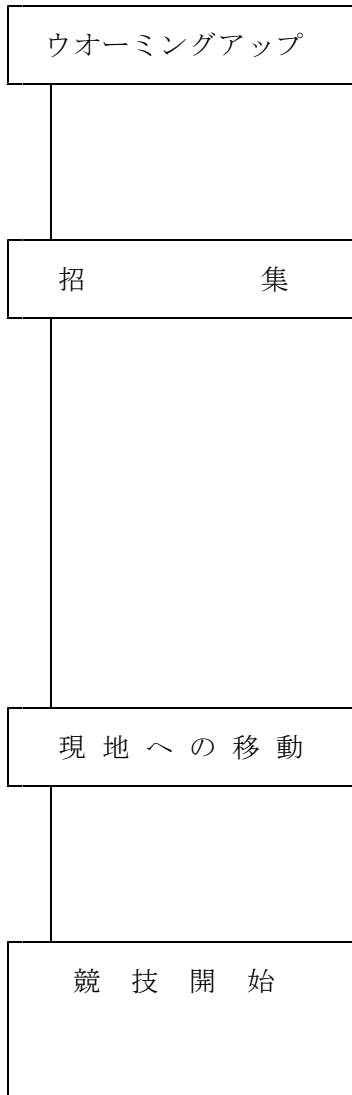


競技注意事項

1. 競技方法 2015年日本陸上競技連盟競技規則による。
2. ナンバーカード 個人ナンバーカード(2015年男女赤字)を胸背部につける。ただし、跳躍競技は、胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手(リレーの1~3走者を除く)は全員腰ナンバー(大会本部で用意する)を右腰後方に付ける。
3. 招集 ○競技者は招集時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。
○トラック競技は競技時刻の20分前、フィールド競技は30分前とする。
○代理人は認めない。
○招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
○四種競技の第一種目の招集については、他の種目と同じ手順で招集を行うが、第二種目以降の招集については現地において招集時刻の5分前に行う。
○招集所は、補助競技場南側出入口側のテントとする。
○リレーのオーダー用紙は午前中に招集所で走順を記入する。招集時刻1時間前まで変更可能とする。
4. 練習場 ウォーミングアップ場は補助競技場とするが、補助競技場で競技を行う10:30~12:45までの間は、本競技場バックストレート側(第1曲走路中央~第2曲走路中央)を開放する。逆走等危険な行為については十分注意すること。また、四種競技実施中は十分注意すること。
5. 使用器具 器具は本部で用意したものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。
6. トラック競技 ○タイムレースとし決勝は行わない。同組、別組とも同記録は同順位とする。
○短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
○男子3000mは、グループスタートとする。(出発係の指示を受ける)
7. フィールド競技 ○走幅跳、砲丸投は3回試技とし、トップ8は行わない。
○四種競技 走高跳は、1組を本競技場(メイン側)、2組を本競技場(バック側)、3組を補助競技場で行う。
○四種競技 砲丸投は、1組を既設ピット、2組を芝生(バック)3組を補助競技場で行う。
8. ユニフォーム リレー競技に出場の場合、ランシャツ(ベスト)は同一ユニフォームとする。
9. バーの上げ方 男子四種走高跳 120 125 130 135 140 ……(組によって異なる)
女子四種走高跳 105 110 115 120 125 ……(組によって異なる)
10. スパイク トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
11. 表彰 種目別の表彰は行わない。
12. その他 ○当日の選手の変更は一切認めない。
○競技する選手以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。
○空き缶・ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
○置き引きには各校注意すること。
○「テント」はスタンドの最上段付近に設営すること。「のぼり」はスタンドの最上段の手すりのみ設置可。
○メインスタンドでの集団応援は禁止する。
○中学生は携帯電話を競技技場内では原則として使用しないこと。
○トランシーバーを使用する場合には、本部で使用する7・8・9・10チャンネルの使用を禁止する。

選手注意事項

選手は以下の流れに従って動き、失格にならないように気を付けて下さい。なお、リレーに出場する選手は下の注意事項も守って下さい。



- ・補助競技場を使用すること。
- ・補助競技場にて、トラックレースを行っているときは使用を禁止する。メイン競技場バックストレートで行う。
また、四種フィールド競技を行っているときは、その周辺は十分注意すること。

- ・招集所は、補助競技場南側出入口側のテントとする。
- ・プログラム記載順に呼名されるので、ナンバーカード等を見せ、確認を受ける。
- ・トラック競技に出場する選手（リレーの1～3走は除く）は、腰ナンバーを受け取り、速やかに右腰斜め後方につけること。なお、腰ナンバーはレース終了後必ず返却すること。
- ・他の種目と競技時刻が重なる場合には、必ず招集所の審判に告げておくこと。

- ・スタート地点や競技が行われる地点に競技者係の指示に従って移動すること。
- ・出発の審判員の指示に従う。

注意1 四種競技について 一種目目の招集の手順は、他の種目と同様、上記の通り行う。
二種目目以降の招集は、直接現地にて招集時刻5分前より行う。
二種目目以降のトラック競技においては、出発係より腰ナンバーカードを受け取り、速やかに右腰斜め後方につけること。

注意2 リレーについて 招集は4人そろって他の種目と同様、上記の通り行う。
なお、オーダーは午前中に招集所で走順を記入すること。招集時刻の1時間前までは変更可能とする。